

「富岳」試行課題(一般／産業) 募集要領

特定高速電子計算機施設（スーパーコンピュータ「富岳」）は、HPC 活用の裾野を広げる斬新なテーマへの挑戦を促すために、「富岳」の利用環境においてアプリケーションの実行、動作検証、性能評価を目的とした「富岳」試行課題を募集します。

本募集要領では、「富岳」試行課題の応募資格、応募方法、課題審査等を記載します。

募集の概要は、HPCI ポータルサイト募集ページ^(*)もご覧ください。

申請資源量が少量の場合は、利用手続きを簡素化したファーストタッチオプションが利用できます。

1. 募集概要

- ・ 計算資源 理化学研究所 計算科学研究センター スーパーコンピュータ「富岳」
- ・ 計算資源量 課題あたり最大 10 万ノード時間
ファーストタッチオプション選択時:課題あたり 1,000 ノード時間 (固定)
- ・ 募集時期 随時受付
- ・ 利用期間 最長 6 ヶ月間
ファーストタッチオプション選択時:最長 3 ヶ月間
- ・ 利用料金 無償
- ・ 利用回数 同一テーマによる複数回の利用可
- ・ 審査結果 審査を迅速に行い、速やかに結果を通知
- ・ 利用報告書 課題終了後 60 日以内に利用報告書（簡易版）を提出する必要があります。
ファーストタッチオプション選択時は課題終了後 60 日以内に利用報告書（ファーストタッチオプション用）を提出する必要があります。
利用報告書は HPCI ポータルサイトで公開されます。
- ・ 成果公開 課題終了後の査読付き論文等による成果公開義務はありません。

1,000 ノード時間以下の計算資源量で申請する場合は、「富岳」試行課題の利用に関わる手続きを簡素化したファーストタッチオプションを選択可能です。課題申請においては課題申請書を作成・提出する必要が無く、利用報告書は、簡易版をさらに簡単にした様式での提出が可能です。

(1) 募集する課題の種類

「富岳」試行課題の課題種別は以下の 2 種類です。

- ・ 一般試行課題：主として学术界による利用を想定した、「富岳」の利用環境においてアプリケーションの実行、動作検証、性能評価を試行する課題。
- ・ 産業試行課題：産業界による利用を想定した、アプリケーションの実行、動作検証、性能評価、自社の課題を試行する研究開発に資する課題。

*1 https://www.hpci-office.jp/pages/fugaku_trial

(2) 利用可能な資源等

本利用枠で利用可能な計算資源は「富岳」と HPCI 共用ストレージです。資源の選択に際しては、以下の点にご注意ください。

1) 「富岳」

- ・「富岳」のローカルストレージは、利用開始時にデータ領域として初期値が割当てられます。
(課題申請時に指定はできません。) 課題実施期間中、申請により段階的に領域拡大が可能です。
- ・「富岳」の資源情報(上記のローカルストレージの初期値含む)およびアプリケーションや数値計算ライブラリ等のソフトウェアについては、HPCI ポータルサイトの「富岳」資源情報ページ^(*)2)をご参照ください。

2) HPCI 共用ストレージ

- ・HPCI 共用ストレージとは、コミュニティにおけるデータ共有、HPCI 計算資源利用時における大量のデータの格納、アーカイブを実現するために整備されたストレージ領域です。「富岳」ローカルストレージとは異なり、SINET6 経由で接続されたネットワークストレージです。
- ・HPCI 共用ストレージの提供資源情報は、ハードウェア・ソフトウェア資源一覧の「共用ストレージ」^(*)3)をご参照ください。

2. 応募資格

1) 課題代表者

- ① 研究課題代表者(以降、課題代表者という。)は、所属する組織の代表者(もしくはそれに相当する組織の長)の承認を得る事ができる当該課題研究の従事者となります。
- ② 一般課題の課題代表者は、原則として日本国内外を問わず、法人(大学、研究機関、社団法人、企業等、以下法人とする)に所属する者となります。ただし、企業に所属される場合は、日本国内に登録された企業に所属する者となります。
- ③ 産業課題の課題代表者は、原則として日本国内に登録された企業に所属する者となります。

2) 課題副代表者

- ① 研究体制が1名のみの課題を除き、原則として副代表者を設定願います。
- ② 課題副代表者の資格は、以下の3)課題参加者と同じです。

3) 課題参加者

- ① 「課題参加者」のうち海外の企業に所属する者は課題代表者が日本国内に登録された法人に所属する者である課題にのみ参加できます。
- 4) 課題代表者を含む課題参加者は、同一研究テーマ^(注1)で、有償課題を除く「富岳」を含むHPCI システム利用研究課題に、複数回応募することはできません。ただし、研究テーマの内容が異なる課題に応募することは可能です。
- 5) 他の「富岳」利用枠の課題^(注2)への参加者は、同一研究テーマで一般利用枠、または、産業利用枠課題に応募することはできません。ただし、研究テーマの内容が異なる課題に応募することは可能です。

^{注1}：類似の研究テーマでも、元の課題とは内容が異なるか、発展的内容であれば応募は可能です。また、継続課題として申請することも可能です。(参照:「4. 課題申請に必要な手続き(4)その他申請にあたっての注意事項 2)継続申請について」)

^{注2}：成果創出加速枠課題、Society5.0 推進枠課題、政策対応枠課題等の「富岳」利用課題

^{*2} https://www.hpci-office.jp/pages/r-ccs_riken_2022-2

^{*3} https://www.hpci-office.jp/pages/hpci_2022_st-1

3. 利用条件

利用研究課題は、以下の条件を満たすことが必要となります。

(1) 「富岳」一般／産業試行課題（ファーストタッチオプション含む）

- 1) 利用者の成果創出、目標の達成、または本格的な「富岳」の利用につながり得る研究であること。
- 2) 「富岳」の利用環境においてアプリケーションの実行、動作検証、性能評価等を行う小規模な課題であること。
- 3) 提案課題の実施および成果の利用が平和目的に限定される等、科学技術・イノベーション基本法や社会通念等に照らして当該利用研究課題の実施が妥当であること。

(2) HPCI 共用ストレージの利用課題

- 1) 「富岳」を利用するためのストレージ利用であること。解析等の利用がなく、長期間保存のみの利用は認められません。
- 2) 「富岳」を利用する計画が明確になっており、利用までに解析等を計画的に実施すること。
- 3) 利用終了後には自らの施設等で保存する見込みがあること。

4. 課題申請に必要な手続き

(1) HPCI-ID の登録

- ・ 利用研究課題の申請時には課題代表者、副代表者、および課題参加者のうち計算資源を利用する方は、HPCI-ID が必要です。HPCI-ID が未取得であれば、課題申請までに HPCI 申請支援システム Web サイト^(※4)にて HPCI-ID を申請、取得してください。（申請手順は、「HPCI クイックスタートガイド」^(※5)をご参照ください。）
- ・ HPCI-ID 取得時の情報（メールアドレス等）は、採否通知の送付等の連絡に使用しますので、取得済みの方も登録内容をご確認の上、適宜情報の更新をお願いします。（HPCI-ID は 1 個人に 1 つのみ発行されます。有効期限は発行から 10 年間です）

(2) 課題申請

- ・ 課題申請は利用研究課題毎に課題代表者または副代表者が実施してください。
- ・ 申請手続きは、HPCI 申請支援システム Web サイト^(※4)から電子申請にて行います。
- ・ 電子申請に際し、事前に記入要領^(※6)に沿って課題申請書（追加シート 1）^(※7)を作成しておいてください。ファーストタッチオプションを選択した場合は、課題申請書（追加シート 1）の作成は不要です。記入要領や申請書の様式は、以下の URL から最新版がダウンロード可能です。
- ・ 電子申請の手順や操作方法の詳細は、「HPCI クイックスタートガイド」^(※8)をご参照ください。

(3) 所属機関による承認

- ・ 課題申請にあたっては、課題代表者の所属する組織の代表者（もしくはそれに相当する組織の長）の承認が必要です。

^{※4} <https://www.hpci-office.jp/entry/>

^{※5} <https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf>

^{※6} https://www.hpci-office.jp/materials/fugaku_trial_kinyu_j.pdf

^{※7} https://www.hpci-office.jp/materials/fugaku_trial_application_form_j.docx

^{※8} <https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf>

- ・ 組織の代表者を申請支援システムに入力していただき、承認は申請支援システム上で行っていただきます。
- ・ 課題申請を受けて登録施設利用促進機関が申請内容を確認し、申請者へご連絡します。組織の代表者宛ての承認依頼メールは、その後申請支援システムより送付されます。
- ・ 詳細な操作手順については「HPCI クイックスタートガイド」(*9)をご覧ください。

(4) その他申請にあたっての注意事項

- 1) 課題申請書に記載する課題参加者名を匿名とすることは原則認められません。ただし、特別な事情によりやむを得ず匿名とせざるを得ない場合は、その理由を明記してください。(例：人事異動に伴う新人の配属が予定されているため、アプリソフトベンダー等への作業依頼を予定しているため、等)
- 2) 継続申請について
 - ・ 継続申請とは、継続申請した課題が継続元課題と同じ計算資源で採択された場合、以前にご利用の計算資源（同一計算資源に限る）の環境（ローカルアカウント、ファイル）が継続利用可能となり、データ移行が省略できる申請方法です。
 - ・ 継続申請が可能な場合のみ、申請支援システムの「申請課題一覧」画面から「継続」を指定して課題申請することができます。
 - ・ また、課題申請書（追加シート1）の「5. 継続元課題」に継続課題の情報を記入してください。
 - ・ 申請支援システムでの継続申請の手順は、「HPCI クイックスタートガイド」(*9)をご参照ください。
- 3) 連絡責任者の設定
 - ・ 登録施設利用促進機関／文部科学省委託事業「HPCI の運営」代表機関では、申請内容等に関する不明点の問い合わせ、選定結果の通知や各種お知らせのため、課題代表者に問い合わせをすることがあります。
 - ・ 万が一課題代表者に連絡が取れない時のために、課題代表者の他に確実に連絡が取れる連絡窓口の方を指名してください。HPCI-ID を取得されていない方でも結構です。副代表者と同一にすることも可能です。

5. 課題審査

(1) 審査の方法

- ・ 利用研究課題の審査は、産学官の有識者から構成される利用研究課題審査委員会により予め認められた利用資格審査基準に従い実施されます。
- ・ 登録施設利用促進機関は「特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定に関する基本的考え方（2022. 2. 21 版）」(*9)に基づき審査を行い、登録施設利用促進機関の長が利用研究課題を選定します。

(2) 選定結果の通知

- ・ 選定結果は、課題代表者および連絡責任者へメールにて通知します。
- ・ 採択通知を受け取った場合は、通知メールに記載された URL を参照の上、アカウント発行に向けた手続きを進めてください。

*9 https://www.hpci-office.jp/materials/selection_overview_f_20220221.pdf

(3) 個人情報の取り扱いについて

応募に際し、課題代表者を含む全ての課題参加者および連絡責任者は、個人情報の取り扱いおよび申請情報の開示について、以下の事項に同意する必要があります。課題代表者は、全ての課題参加者および連絡責任者が、以下の事項に同意していることをご確認の上、申請してください。

- 1) 登録施設利用促進機関／文部科学省委託事業「HPCI の運営」代表機関は、事業遂行において取得した個人情報を適切に管理し、登録施設利用促進機関業務および文部科学省委託事業「HPCI の運営」代表機関業務を遂行するのに必要な範囲で利用します。詳細はHPCI ポータルサイト^(※10)をご参照ください。
- 2) 採択された課題については、個人情報保護法第 23 条第 5 項第 3 号にもとづき、HPCI を構成する機関との間で、個人情報を共同で利用します。詳細はHPCI ポータルサイト^(※11)をご参照ください。

(4) 課題申請書の開示について

- ・ 課題が採択された場合、課題申請書（追加シート 1）をアカウント発行およびヘルプデスク業務のために当該 HPCI 資源提供機関に開示する場合があります。
- ・ 開示に先立ち、課題代表者に同意確認を行います。同意確認は、申請支援システムにアクセスして行います。
- ・ もし、課題申請書に課題審査のみに用いるべき秘密情報が含まれる場合は、該当部分を開示できる内容に変更し、再アップロードすることが可能です。具体的な手順については HPCI クイックスタートガイド^(※5)をご覧ください。同意確認を行うまで、ローカルアカウントが発行されない場合があります。

6. 成果公開・利用報告書

本募集課題については、課題終了後の査読付き論文等による成果公開の義務はありません。課題終了後に以下の (1) ～ (3) を行っていただきます。

公開する情報を含め、情報の取り扱いに関する詳細は、「特定高速電子計算機施設等の利用促進業務における情報管理に関する基本的考え方（2021. 9. 1 版）」^(※12)をご参照ください。

また、利用報告書のフォーマット・提出方法、成果発表データベースへの登録等についてはHPCI ポータルサイト^(※13)をご参照ください。

(1) 利用報告書の提出

- ・ 課題終了後 60 日以内に、利用報告書を提出してください（その後公開されます）。
- ・ ただし、知的財産権の取得を行う場合については、申請のうえ認められれば2年間の公開延期が可能です。
- ・ ファーストタッチプッシュン選択時は専用の様式を使用し、実施内容と実施結果等について選択式で記入してください。

<6. (1)に係る特記事項>

- ・ 6. (1)の利用報告書が期限内に提出されなかった場合は、原則として、課題代表者を含む当該課題

*10 <https://www.hpci-office.jp/pages/privacypolicy>

*11 https://www.hpci-office.jp/pages/privacypolicy_sharing

*12 https://www.hpci-office.jp/materials/about_info_control_20210901.pdf

*13 https://www.hpci-office.jp/pages/procedure_achievements
https://www.hpci-office.jp/pages/faq_list#a03

実施者全員に対して、課題代表者としての応募資格停止、及び新しい課題への参加資格停止のペナルティが科せられます。

(2) 成果発表データベースへの登録

成果発表(※)の際は、謝辞への課題番号の記載、『「富岳」を含むHPCI システムを利用した結果である』ことを明示するとともに、これら実績を登録機関の成果発表データベースへ登録をお願いします。^{(※14)(※15)}

※ 論文（査読なし）、国際会議・シンポジウム、国内学会・シンポジウム、研究会等、一般向講演会・セミナー等、新聞・TV・Web 配信・雑誌・広報誌等、書籍、プログラム・データベース公開、特許出願・公開、受賞など

(3) 成果を活用した製品等の開発について

「富岳」の成果を活用して製品等を開発した事例がありましたら、「富岳」の成果である旨を、製品あるいはパンフレット等への表示をお願いします。

7. 知的財産権の取扱いについて

(1) 特定高速電子計算機施設およびHPCI 共用計算機システムを利用することによって生じた知的財産権については、原則として利用者または利用者が所属する機関に帰属するものとします。

(2) ただし、利用者が非居住者又は日本国籍を有しない者である場合は、

- ・ 利用成果に係る知的財産権の内、発明に関して利用者が特許取得等の法律的な保護を受けようとする場合には、事前に登録施設利用促進機関に通知の上、発明者と登録施設利用促進機関の貢献度に応じて持ち分や費用負担を決定するものとします。
- ・ 日本の大学等教育機関または日本の国立研究機関との共同研究の結果行われる発明に係る権利およびこれから生ずる利益の配分については、共同研究に先立ち当事者間で合意し、当該共同研究の条件を定める取り決めにおいて規定するものとします。

8. その他

(1) 利用上の注意

- 1) 課題申請書に記載した内容に虚偽がある場合、利用研究課題の実施に当たり本募集要領、規定類に違反した場合、または関係法令等に違反した場合には、HPCI アカウント及びローカルアカウントの一時停止や停止、利用研究課題の取り消し等を行うことがあります。
- 2) 「富岳」の利用（アカウント発行^(※16)）にあたっては、誓約書^(※17)への同意が必要です。また、非居住者の場合、安全保障輸出管理の観点から利用が許可されないことがあります。
- 3) 「富岳」の利用にあたっては、理化学研究所計算科学研究センターが定める利用規約を遵守してください。また、HPCI 共用計算資源の利用にあたっては、各 HPCI 資源提供機関が定める利用規約を遵守してください。
- 4) 「富岳」において、政策対応枠の課題と一般利用／産業利用の有償利用課題は、一般利用／産業利用

^{※14} <https://www.hpci-office.jp/pages/acknowledgement>

^{※15} https://www.hpci-office.jp/pages/procedure_achievements?tab=database

^{※16} https://www.hpci-office.jp/pages/start_representative

^{※17} https://www.hpci-office.jp/materials/f_pledge_jp.pdf

の無償利用課題より高いジョブ優先度が設定されます（ジョブ優先度：政策対応枠課題＞有償利用課題＞無償利用課題）。ただし、3月と9月の繁忙期には優先設定は行いません。

- 5) 意図せざる技術流出や法令違反を未然に防止するためには、課題参加者一人一人の外為法規制の理解と遵守活動の実践が必要不可欠です。課題代表者として、課題参加者全員が外為法の規制を理解し、適切な管理を行うよう努めてください。課題申請時には、安全保障輸出管理について課題参加者全員が理解している旨を、チェックボックスにて確認させていただきます。
- 6) プレス発表等の留意事項
受賞、プレス発表、マスメディアへの掲載の際は、プレス発表の1週間前までに登録機関へ連絡をお願いします。^(※18)

(2) 課題辞退・課題採択後の変更等

1) 課題辞退

- ・ 課題採択後に、予期し得ぬ理由により課題辞退を希望する場合は、選定通知後原則として10日以内にヘルプデスク（helpdesk@hpci-office.jp）まで連絡してください。
- ・ 当該期間を超えて辞退された場合は、配分計算資源量に対する支払いを求めることがあります。

2) 課題代表者の変更

- ・ 課題代表者の変更については、利用研究課題審査委員会が課題代表者の変更理由の妥当性を認め、かつ当該変更に伴い研究計画の進捗、目的達成（成果創出）に支障がないことを認めた場合に限り、当該課題の現副代表者をもって変更後の課題代表者にすることを認めます。
- ・ 変更申請は、課題代表者が書面により行います。ただし、課題代表者による申請が困難な場合に限り副代表者による申請を認めます。

3) 課題代表者の所属変更

- ・ 課題代表者が所属を変更した場合、新たな所属機関の情報と今後の連絡先を速やかにヘルプデスクに届け出るとともに、必要な手続きを行ってください。
- ・ 課題代表者は、課題代表者自らの変更が必要となった場合、速やかにヘルプデスクに届け出てください。さらに、課題代表者は以前の所属機関と協議し、今後の課題実施体制をヘルプデスクに報告してください。
- ・ 課題代表者と連絡が取れない、今後の課題実施体制の報告が無い等、課題の継続に影響があると登録機関が判断した場合、(1)-1)の対応をとることがあります。

4) 課題採択後の課題参加者の変更（追加・削除）

- ・ 課題採択後の課題参加者の変更（追加・削除）については、課題代表者または副代表者による課題参加者追加/削除の申請を受け、研究体制の本質的な変更とならないことを確認して、利用研究課題審査委員会委員長決裁にて採否を決定します。

(3) 免責事項

- 1) 予算措置および審査結果によっては、必ずしもご希望の資源量に沿えない場合があります。なお、計算機資源量は配分された後でもその資源量を保証するものではありません。期末等には大変混み合いますので、計画的な利用をお願いします。

^{*18} https://www.hpci-office.jp/pages/press_release

- 2) 故障や災害、その他の理由によって、課題採択時の計算資源を提供できない場合があります。その場合の計算資源の補償はできません。

また、予期せぬ障害等でデータ消失や利用者の損害が発生した場合も補償できません。

9. 問い合わせ先（ヘルプデスク）

TEL: 078-940-5795 FAX: 078-304-4959

E-mail: helpdesk@hpci-office.jp